



①中国大会出場「ほふく」救出訓練 左から渡邊副士長、新畑士長、中谷消防士「ロープ」応用登はん訓練 中川副士長、高根士長。

②ゴールを目指して一刻も早く③要救助者に素早くロープを巻きつけます④安全で迅速な救出。ストップウォッチを見つめる計測員。

6/25 TUE

救助技術の向上を目指して
消防本部
 消防救助活動に必要な体力、精神力、技術を養うとともに隊員間の連携を強固にすることを目的として消防本部で「消防救助技術指導会」が実施されました。
 ほふく救出訓練3人1組で代表に選ばれた中谷一貴消防士は、初めてこの競技に参加したようで「落ち着いて今までやってきたことを本番で発揮したい」と意気込みを語ってくれました。ロープ登はん訓練(2人1組)で1位になった中川和真副士長と高根晃士長は「今回の11.7秒を更新して全国大会に出場したい」と気合十分です。
 選ばれた消防隊員は、県代表として7月17日に岡山県で開催された「第52回中国地区消防救助技術指導会」に出場しました。



①一人ずつ持つのは初めての子どもも、少し緊張気味②服に火がついたら、うつ伏せになって消します③打ち上げ花火の「パン」という音にびくくり。

7/5 FRI 安全に花火で遊ぼう

大竹中央幼稚園

花火を安全に楽しむため消防本部が、市内の幼稚園、保育所などを巡回し『おもちゃ花火教室』を開催しました。大竹中央幼稚園の39人の子どもたちを前に、花火の正しい遊び方や服に火が燃え移ったときの対処法を教えます。その後は、実際に手持ち花火に火をつけての体験。少し緊張気味で火花を見つめます。日域久美子園長は「近々合宿で花火をするので、勉強になりました」と話していました。



6/22 SAT

①楽しそうに話を聞く受講者②ジェスチャーを交えながら話すルークさん。

日本とアメリカの違いを学ぶ

アゼリアおおたけ

大竹国際交流協会主催で、他国の文化を知ることで相互理解を深める「国際理解講演会」が行われ、54人が参加しました。講師の日系アメリカ人のルーク・ロスさんは、小学生の頃、小方小学校に体験入学したことがあり、大竹にゆかりのある方です。内容は日本とアメリカの違いについてで、笑いも交えながら講演し、参加者は興味深げに耳を傾けていました。講演会がある際には、必ず足を運んでいるという田中弘明さん(栗谷町)は「誰が聞いても楽しめるような分かりやすい話で、終わった後も参加者同士で盛り上がる事ができる、大変良い講演会でした」と笑顔で語ってくれました。



交通安全のおはなし会でアーサーと一緒にパチリ!



「ぬいぐるみおとまり会」こんなにたくさん参加してくれました。



ぬいぐるみおとまり会でのひとコマ。いいこにねんねしてね。



YouTube大竹市図書館チャンネル

8月(AUG)						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■白字は図書館の休館日です。○はおはなし会の日です。

お知らせ

8月14日(水)15日(木)は臨時休館します。

展示コーナー
 一般向き 涼やかに:
 児童向き おいしいなつあつまれ!
 時事コピー フランス〜2024パリオリ
 ンピック〜

※おはなし会は予約の必要はありません。参加を希望する方は当日来館してください。

おはなし会
 とき8月17日(土)11時から▼ところ図書館
 1階 おはなしのへや▼対象幼児・小学生
 リーおおたけ1▼対象1歳から
 とき8月9日(金)11時から▼ところギャラ
 リーおおたけ1▼対象1歳から
 親子で楽しむおはなし会
 おひざにだっこのおはなし会
 とき8月9日(金)10時30分から▼ところ
 ギャラリーおおたけ3▼対象0歳から

新刊案内

こどもの本

おとなの本



「ラッキーボトル号の冒険」

クリス・ウォーメル/作
 柳井 薫/訳
 (徳間書店)

嵐で船が難破し、大海の孤島に流れ着いた10歳の少年ジャック。島には巨大なカメと、一人の男が住んでいた。ロビンソンと名乗る男と洞穴で暮らすようになったジャックは、島に海賊の宝が埋まっているかもしれないと気づき…。



「大阪万博1970」
 藤川 智子/著
 白井 達郎/監修
 (ほるぷ出版)



「野球しようぜ!」
 大谷翔平ものがたり
 とりごえ こうじ/文
 山田 花菜/絵
 (世界文化ワンダーグループ)



「図書館にまいこんだ
 こどもの超大質問
 司書さんは名探偵!」
 こどもの大質問編集部/編
 (青春出版社)



「ラッコのすべて
 いますぐ会いに行きたい」
 南幅 俊輔/編著
 三谷 唯子/監修
 鈴木 一平/監修
 (廣済堂出版)

「万両役者の扇」
 蟬谷 めぐ実/著
 (新潮社)

江戸の気鋭の役者・扇五郎にお熱のお春は、女房の座を狙い芝居小屋で偶然見かけた人物に近づく。ある日、若手役者の死体があり、下手人として疑いの目を向けられた扇五郎だが…。『小説新潮』連載を加筆修正。



●掲載している催しなどは中止、または延期になる場合があります。